

歌唱指導におけるオンライン授業の実践例

信州大学 教育学部 音楽教育コース 池田 京子（声楽担当）

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、文科省から示された教育活動再開に向けてのガイドラインで「歌唱指導や身体の接触を伴う活動は当分の間行わない」ことが求められたため、音楽大学のみならず教員養成大学においても、声楽のレッスンをはじめとする歌唱を伴う活動を対面で行うことは、5月現在できなくなっている。果たして声楽の実技レッスンをオンラインでできるものなのか、どんな方法で、何を狙いとすれば実施できるのか等を考えながら試行錯誤を繰り返しているところである。今回はその実践の一部をご紹介したいと思う。2020年度前期に私が担当している歌唱を伴う授業科目は、次の3つに分類できる。「ソルフェージュ」「声楽実技のクラス授業」「声楽実技の個別指導」であり、主にZOOMを用いて双方向で授業展開している。ZOOMでは、「設定画面」でオーディオ処理の自動抑制・制御等を外して手動とし、「オリジナルサウンド」を「ON」にするなど手を加えてはいるが、それでも「音切れ」「声のにじみ」などでストレスがかかる。



授業配信している教室には、PCの両サイドにUSB端子のスピーカーを置き、右前に譜面台、左後ろにはG.ピアノが設置されている。この他に教室には電子黒板と、ビデオカメラを設置している。

「ソルフェージュ」の聴音課題については、事前にeALPS（信州大学独自のe-Learningシステム）にアップしておき、時間を決めて解答させた楽譜の写メを撮ってeALPSにアップさせる方法を取っている。視唱については、仲間の歌うメロディーをイヤフォンで聴きながら3度下、3度上のメロディーを歌わせ、その2つの演奏を指導者が動画編集のフリーソフトを用いて編集し、リモート演奏動画として学生たちへ返している。









「声楽実技のクラス授業」においては、アカペラ（無伴奏）で歌った動画をYouTubeに限定公開で挙げさせ、履修者と動画を共有しながら授業を進めている。学生相互の評価、自己の振り返りのコメントをeALPS上に書き込ませているが、その内容の質、量ともに例年より充実しているのが今年度の特徴でもある。

「声楽実技の個別指導」では、Face Timeも有効である。

以上、簡単ではあるが、令和2年5月末現在のオンライン授業の実践例報告としたい。

アップロード済み すべて再生

 Segreto(Francesco Paolo Tosti) 6 回視聴・6 日前 限定公開	 Quando ti rivedrò (Stefano Donaudy) 8 回視聴・6 日前 限定公開	 Oh, amore(Pier Adolfo Tirindelli) 12 回視聴・6 日前 限定公開
 L'ultima Canzone (Francesco Paolo Tosti) 14 回視聴・3 週間前 限定公開	 Preghiera(Francesco Paolo Tosti) 20 回視聴・3 週間前 限定公開	 Ma rendi pur contento (Vincenzo Bellini) 28 回視聴・3 週間前 限定公開

以上、簡単ではあるが、令和2年5月末現在のオンライン授業の実践例報告としたい。